



# 県立えびな支援学校、 二度目の卒業式を迎える

開校から 3 年目を迎える県立えびな支援学校では、この春 2 度目の卒業式を迎えます。

ピカピカで設備も充実した学校で学んだ子供たちが、社会や次の学びの場に巣だっていってくれるのはとてもうれしいことです。

しかし、一昨年津久井やまゆり園で発生した事件のように、ハンディキャップをもつ人々に対する差別や偏見が世の中に無いわけではありません。私たち神奈川県は津久井やまゆり園での事件を教訓に「ともに生きる社会かながわ憲章」を定め、障がいの有無にかかわらず、だれもが安心して暮らせる社会をつくって行こうと固く決意致しました。しかし、その憲章について県民の皆さんに「知っていますか？」とアンケートしたところ「知っている」と答えて下さった人は 2 割程度にとどまってしまったのも事実です。

県立えびな支援学校を卒業した人たちが、安心して暮らせる社会をつくらなくては…卒業式の歌声を聞きながら私はそのことを考えていました。



## 二つの巨星墜つ

昨年 10 月、元海老名市議会議員、武井平八郎氏がお亡くなりになりました。豪放磊落なお人柄でだれからも「武井のおやじさん」と呼ばれ親しまれた方です。何より私が 29 歳の時に市議会議員に当選できたのもこの人なくてはあり得なかった、そんな大切な人でした。

そして今年 2 月、元県議会議員の水島祐吉氏もお亡くなりになってしまいました。県議として県政の発展に大きく寄与された方であり、この方も私が県議会議員に落選したときも、当選したとき

も、親身に応援して下さいました大恩人です。お二方とも同い年の 90 歳。戦前、戦中、戦後の日本に生き、発展著しい海老名のまちづくりに政治家として多大な貢献をされました。

特に武井のおやじさん、いつまでも元気でいて、アドバイスをしてくれました…。今はお二人のご冥福を祈り「しっかりと神奈川のためにも海老名のためにも働きますよ」とお誓いするしかありません。

### この人紹介 | 海老名市ラグビーフットボール協会会長 武田小三郎 さん



いよいよ来年はラグビーのワールドカップが日本で開催され、横浜の日産スタジアムで決勝、準決勝の試合が行われるほか、予選リーグでも強豪ニュージーランド vs 南アフリカ、日本 vs スコットランドなどの好カードが組まれることになっています。

息子さんがサントリーフーズの

ラグビーチームで活躍している武田会長は、海老名市のラグビーフットボール協会の会長として、小中学生によるラグビースクールの運営や、社会人チームの育成などに積極的に取り組むと同時に、ラグビーワールドカップの開催に向けて、熱心に取り組んでいらっしゃいます。

アクティブ Vol.35

# ACTIVE

発行

おさだ進治事務所  
海老名市大谷北 1-5-27  
Tel: 046-236-0505  
Fax: 046-236-0508  
osada@osadashinji.com



2018 年 3 月 8 日



神奈川県議会議員  
<http://osadashinji.com>

## おさだ進治

# 海老名と厚木を結ぶ新たな橋建設へ！

海老名市社家と厚木市岡田の間を結ぶ歩行者・自転車専用橋の開通に向けて、県、厚木市、海老名市の協議が整い、新年度の県予算案に整備費用の一部が計上されました。

この橋は、相模川の水を飲み水にするために取水する堰（相模大堰）の上部に建設するものですが、ここには本来自動車道を整備する計画が古くからあり、その橋脚はすでに完成しています。しかし、これまで周辺住民のご理解が得られず、長い間建設が止まったままとなっていました。

今回は周辺環境に影響の少ない歩行者・自転車専用道路として県が暫定的に整備するもので、すでに整備が進められている遊歩道の「さがみグリーンライン」と接続させることで、広域的な遊歩道ネットワークの一部となります。

また、海老名市内の県立有馬高校や県立中央農業高校に厚木方面から自転車で通学している生徒も多いため、この生徒にとっては通学距離を大幅に短縮する効果があるものと期待できます。

今後 2 年程度の間全線が開通できるよう地元の皆様に丁寧にご説明をしながら事業の推進に努めてまいります。



取水堰上部にかかっている管理用通路。これを利用して歩道にします。



取水堰全景。すでに開通しているさがみグリーンライン（写真手前）と接続します。

## ごあいさつ



神奈川県議会議員  
おさだ進治

3 月の訪れと共にようやく春の兆しを感じるようになってまいりました。季節は「啓蟄」。陽気に誘われて土の中の虫たちが動き始める季節という意味だそうです。先月韓国で行われた平昌オリンピックも終わり、いよいよ 2 年後の東京オリンピック・パラリンピックに向けて私たちの神奈川県もセーリング競技を江ノ島で開催する準備のほか、海外からの観光客の受け入れ、警察による警備の強化など、様々な準備を進めて行かなければなりません。

そんな中、私も県議会議員として 3 期目の最終年を迎えようとしています。今は議員の中でも中堅と位置づけられるようになり、議会においても責任ある役職を担わせて頂くようになっております。この一年は総務政策常任委員長や自民党政務調査会の筆頭として、議会では政策決定の最前線で仕事をさせて頂きました。そして来たる新年度においても、さらなる働き場の与えられることになるでしょう。そして、いつでも地元海老名のことを胸に、それでいてグローバルな視点から、神奈川の未来をえがける政治を心がけていきたいと思っています。

今回のアクティブでは、海老名における神奈川県ハード事業を中心に報告をさせていただきます。是非ご一読下さい。

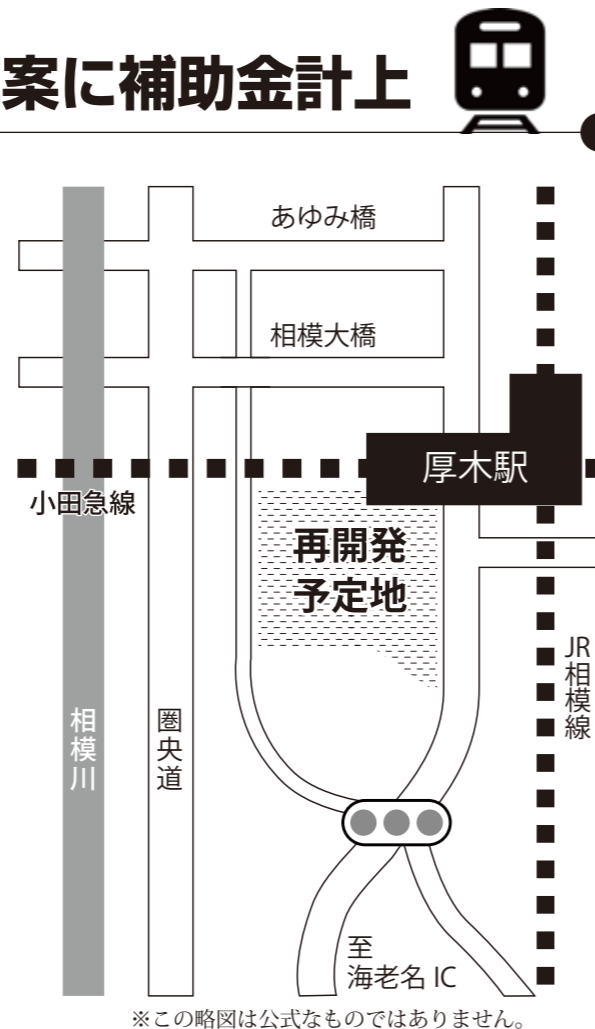
## 厚木駅前再開発始動！県予算案に補助金計上



海老名にあっても厚木駅！？初めて海老名に来た方はそんな戸惑いを持つ方もいらっしゃるかも知れません。でも隣りの本厚木駅より歴史の古い海老名の厚木駅です。

そんな厚木駅の小田急線ホームの南側一带について、再開発の計画がまとまり、市の都市計画審議会において協議が行われています。計画ではマンションの他、商業施設が併設される予定で、神奈川県ではこれに対して、公共部分の建設費の一部を市と協調して補助する新年度予算案を編成し、現在県議会で審議が行われています。

JR相模線と小田急線が交差する駅でありながら、タクシー乗り場も無いなど、周辺インフラの整備が遅れ、更に圏央道の海老名I.Cの開通による道路渋滞など問題が顕在化していた厚木駅周辺ですが、今回の開発を機に駅周辺一帯の整備が進むよう、私も県の立場から協力して行きたいと思っています。



## 東名高速道路「綾瀬インターチェンジ」 開通の目途たつ



一部の建物の移転が難航したことから整備が遅れていた東名高速道路綾瀬インターチェンジについてはこのほど建物の移転の目途がたち、開通の時期が見通せる状態となりました。

現時点では、「東京五輪までには開通させる」ことを目指して建設事業を進める計画とのこと。綾瀬インターチェンジではありませんが、海老名市でも柏ヶ谷地区や国分、大谷など東部にお住まいの方たちにとっては、海老名インターチェンジ以上に身近なインターチェンジが開通することになります。

ただし、このインターチェンジはいわゆるスマートインターチェンジであり、利用するにはETCが必要となります。



# 海老名で進む、県のハード事業

## 立体化へ向け暫定整備・上郷立体



都市計画道路下今泉・門沢橋線は、JR相模線の踏切前後で慢性的な渋滞が発生しています。この渋滞を解消するため、道路の立体化事業を進めていますが、今年度は踏切の南側のオートボックスさん前の交差点について一部道路の整備を行い暫定的な渋滞対策を行ないました。

立体化の本格的な整備には地権者や地域の皆様のご理解を頂くことが必要であり、現在県としては誠意をもって交渉を進めておりますので、本格整備まで今しばらくお待ち下さいますようお願い致します。



オートボックス前交差点、南側より。右左折レーンが整備されました。



北側より。隣接用地を買収し右折レーンを整備しました。

## 新東名県内で最初に部分開通 今後の見通しは…



去る1月28日、新東名高速道路の海老名南ジャンクション～厚木南インターチェンジ間2kmが部分開通致しました。新東名高速の県内区間では初めての開通となり海老名ジャンクションなどの渋滞緩和が期待されます。現在厚木南インターチェンジから伊勢原北インターチェンジまでの整備を進めており、平成30年度中には開通し、平成32年度には海老名から名古屋までの全線が開通の見込みです。



## 自然型河川「永池川改修事業始まります」



コンクリートを使わず、多自然型の河川整備が行われる永池川の東名高速道路北側の部分について、下流側三分の一の工区について用地の買収が完了しました。新年度においてはこの区間の整備に入ると共に、中央部分三分の一の工区についての用地買収に着手致します。



永池川。左の杭を打ってある土地が買収され、幅員26mの自然型河川に。